

ピーター・デーヴィッド・ドライスデール(オーストラリア国立大学クロフォード公共政策大学院名誉教授兼客員フェロー)

ワン・グンウ(シンガポール国立大学上級教授)

モデレーター: 木村 福成(東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)チーフエコノミスト、慶應義塾大学経済学部教授)

(木村) アジアは拡大を続けています。世界の人口の半分がこの地域に住み、さまざまな面で多様性に富んでいますが、共同体を形成する上で、どのように統合していくかが大きな課題になっています。今日は二人の先生方から、「アジアの世紀到来か? 経済と歴史からの視点」というタイトルで、お話を伺いたと思います。

(ドライスデール) 経済学者として言えば、既に「アジアの世紀」は到来しています。東アジアは世界全体の所得の30%以上を占め、今後10年間で45%まで増えると考えられています。中でも、中国・インドは非常に重要な役割を担っています。このことに鑑み、現在の構造を超え、新しい形でアジアの世紀を形づくっていかねばなりません。従来は日本は指導的な役割を担ってきましたが、日本以外の国々の重要性も鑑みて役割を考えなければなりません。

アジアの変化は、グローバル経済にも多大な影響を与えています。金融危機を乗り越えるためにG20が発足したことは非常に象徴的で、世界経済におけるアジアの重要性を如実に物語っています。経済的な地位を見ても、中国は生産水準において、今後1~2年の間には、世界1位のアメリカを追い抜くことも考えられます。

このような変化は経済だけでなく、文化的、社会的、政治的な変化も巻き起こしています。新中間層の数は、欧米がほぼ横ばいであるのに対し、アジアは2009年の約5億人から2030年には30億人に近づくと考えられています。この新たな中間層は、社会的・政治的な挙動にも影響を与えるようになるでしょう。

(木村) アジアは既に重要なグローバル経済管理の一翼を担っている、さらに、中間層が拡大することによって生じる社会・経済的な課題に、私たちは責任を持って対応しなくてはならないというお話でした。

(ワン) アジアの経済が今後も世界全体の発展に非常に大きな役割を果たしていくことは明らかです。しかし、歴史学者としては、より長い発展の歴史から大局的に見なくてはならないと申し上げたい。

「アジアの世紀」のためには、グローバル化が必要でした。3,000~4,000年の歴史のうち、真のグローバル化は、海上交通の発達で全ての海洋がつながった大体500年前に始まったと言えます。「アジアの世紀」の可能性を語る上で、このことを忘れてはなりません。



「アジアの世紀」が始まるのは、この数百年の間、グローバルな世紀が続いたからで、アジアという概念が生まれたのは、ユーラシア大陸というしがらみから離れ、海上が開放され、大西洋、インド洋、太平洋へとつながったことによります。

私たちは大陸的な懸念にとらわれず、海洋の方に目を向けるべきでしょう。冷戦を振り返ってみると、ソ連は簡単には海上ルートを利用できず、グローバル経済に十分に参加できなかったため崩壊しました。これは大陸の権力に対する警告なのです。

しかし、将来の経済が完全に海上というわけにはいきません。大陸には今なお資源があり、可能性が残っています。しかしそれを開発し、利用するためには、海上のパワーとつなげなくてはなりません。インドや中国はこのことを理解していて、海上のつながりの発展により一層参加していくことで、アジアの世紀に貢献し得ると思います。

(木村) アジアの世紀は実はグローバルな世紀の一部であり、ASEANは「グローバル+海洋」であるというお話でした。東アジア共同体の形成に向けては今後、どのようなアイデンティティが必要でしょうか。

(ドライスデール) アジアが成長してきたのは、日本や北東アジア、最近では東南アジアやインドといった国々がグローバルな通商に関わってきたからです。アジアの国々は、経済的に貿易の面でも相互依存を強めています。

APECは「開かれた地域主義」を理念としており、ASEAN経済共同体はアジアの経済を世界経済に対して非常にオープンにするものだと思います。こういう原則を今後も貫いていくことが非常に重要です。地域を越えて関係をつくり、グローバル化を進め、経済的な共同体をつくっていくことが重要なのです。

(ワン) 日本は19世紀、海の方に目を向け、アジアのグローバル化を主導してきました。しかし、今日の日本は再びアジアの大陸に目を向けなければなりません。中央アジアを経由してつながった初期の文明が陸上を通して日本に伝わったことの意味は大きく、大陸とのつながりの歴史を無視してはいけません。アジアの世紀とは、十分に近代化され、グローバルな視点を持った日本がアジアに戻ってくる時代だと言えます。

